

キャンプ座間に関する協議会第17回幹事会  
(ま と め)

1 日 時 平成27年2月20日(金) 16:00～17:00

2 場 所 座間市役所 3階庁議室

3 出席者

(1) 南関東防衛局

伊藤企画部長、長谷川管理部長、藏本地方調整課長

(2) 座間市

小俣副市長、稲垣市議会副議長、大塚市基地返還促進等市民連絡協議会副会長、  
佐藤企画財政部長

(3) 神奈川県

太田基地対策部長

4 会議の概要

① 第16回幹事会について

第16回幹事会の議事内容について確認を行った。

② 負担軽減策の具体化について

始めに、座間市から、「キャンプ座間返還予定地における座間総合病院の建設工事は、平成28年4月の病院開業に向けて、これまで、順調に進捗しており、今後、地上部分の工事に移行する計画である。については、地下部分に係る工事の次の段階の工事を実施するため、共同使用の期間延長の承認に向けた日米間の調整等、所要の手続きをよろしく願いたい。」との発言があり、南関東防衛局からは、「病院建設を円滑に進めることができるよう、引き続き、取組んでまいりたい。」との発言があった。

次に、座間市から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事の進捗を説明頂きたい」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事は、現在、躯体工事を実施しており、宿舎2棟の2階部分まで立ち上がっている。また、平成27年度予算案において公務員宿舎施設費として約27億円を2ヶ年の国庫債務負担行為で計上しており、今後も順次、工事を進め、引き続き、早期完成に向けて努力してまいりたい。」との説明があった。

次に、座間市から、「キャンプ座間の一部返還に際し必要となる施設整備である米軍家族住宅の工事の進捗状況と、最終的な完了時期及び具体的な返還時期を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「米軍家族住宅の整備については、現在、躯体工事を順次、実施しているところ、施設整備の最終的な完了時期及び具体的な返還時期については、今後の事業の進捗や返還に係る諸手続の進捗によることから、現時点で確たることは申し上げられないが、いずれにしても、施設整備を着実に実施し、平成28年春の病院開業に支障がないよう、早期の返還に向けて引き続き努力していく。」との説明があった。

次に、南関東防衛局から、「座間市が計画している返還跡地利用の全体整備スケジュールについて、変更の有無を説明頂きたい。」との発言があり、座間市から、「前回の幹事会以降、計画に大きな変更はない。今後とも引き続き、

これらの事業の円滑な進捗ができるよう協力をお願いします。このスケジュールの実施にあたり、市民が負担軽減を実感できるよう、新消防庁舎建設への助成等については当市から、また、現在、海老名市、綾瀬市、座間市の3市で運営している高座清掃施設組合のごみ処理施設等の整備に対する助成については高座清掃施設組合から、南関東防衛局に補助事業等計画書を提出させて頂いたところ、積極的な対応をお願いしたい。」との発言があり、これに対し、南関東防衛局から、「座間市の全体整備スケジュールの円滑な実施ができるよう、一部返還に際し必要となる施設整備を着実に実施し、早期返還に向けて引き続き最大限努力してまいりたい。また、座間市民のための負担軽減について、環境整備法等に基づき、最大限努力する。なお、国の財政状況が非常に厳しいこともご理解願いたい。」との説明があった。

最後に、座間市から、「陸上総隊について、同司令部の設置場所等も含め、検討状況を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上総隊（仮称）の新設に向け、平成27年度予算案に、陸上総隊（仮称）の前身となる中央即応集団司令部に準備室の設置及び陸上総隊（仮称）司令部庁舎等の整備に係る調査・設計費約3億円を計上している。陸上総隊（仮称）司令部の具体的な配置場所については、引き続き検討を行っており、今後、詳細が分かり次第、適時情報提供を行っていきたい。」との説明があった。

以 上